

玄関ドア用指紋認証ユニット

ALPHA
FingerLock[®] *ef*

指紋錠「アルファフィンガーロック」
取付条件解説書



■ 取付概要

指紋錠「アルファフィンガーロック」の取付は下記の手順で行います。また、取り付けるには別頁の「ドア条件」、「錠前条件」のいずれも満たしている必要があります。尚、詳しい取付方法は商品に付属している取付説明書を良くお読みになって下さい。

- ①指紋錠が取り付けられるドア、錠前であることを確認します。(別頁参照)
- ②指紋錠には右勝手、左勝手の仕様があります。また、ドア厚に応じて36～40ミリ、41～47ミリ、48～54ミリ、55～60ミリ、断熱ドアなどで使われている錠ケース偏心用の60ミリのタイプから選びます。
- ③付属のドア加工図を参考にドア穴加工をします。
- ④センサーユニットとコントロールユニットを仮止めします。
- ⑤錠ケースとシリンダーはそのまま使用し、室内側のサムターンを電動サムターンと交換します。
- ⑥同じ記号どうしの配線を接続します。(下図は概略です)
- ⑦センサーユニット、コントロールユニット、電動サムターンをビスで固定し取付完了です。



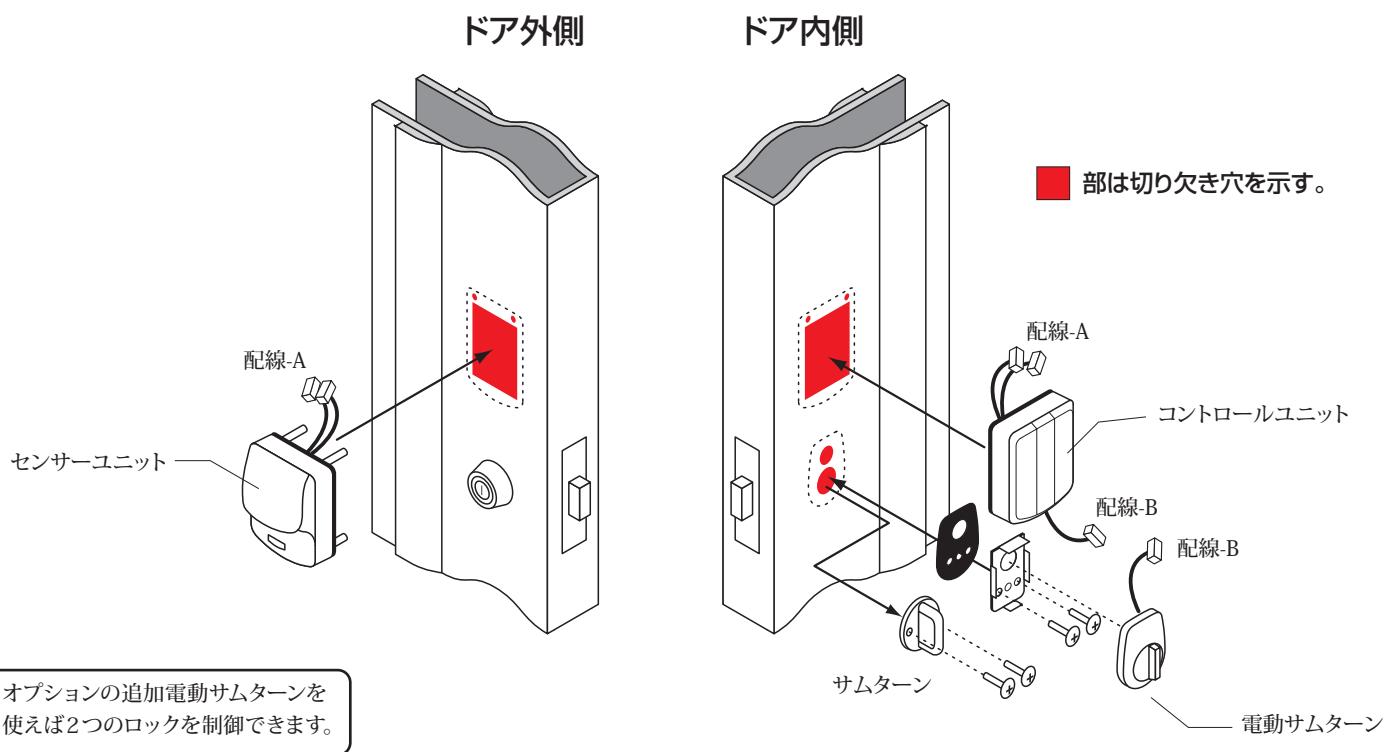
センサーユニット



コントロールユニット



電動サムターン

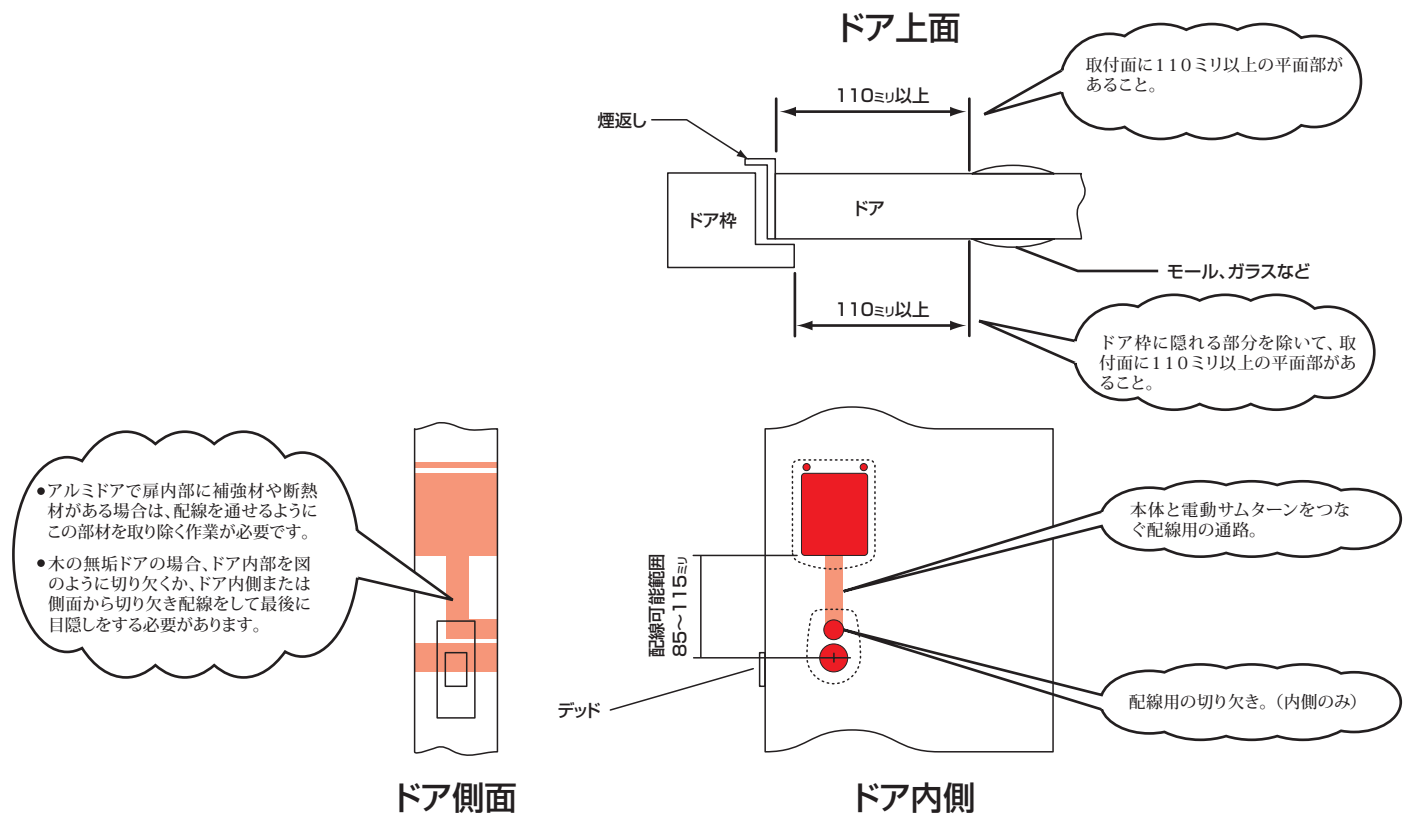
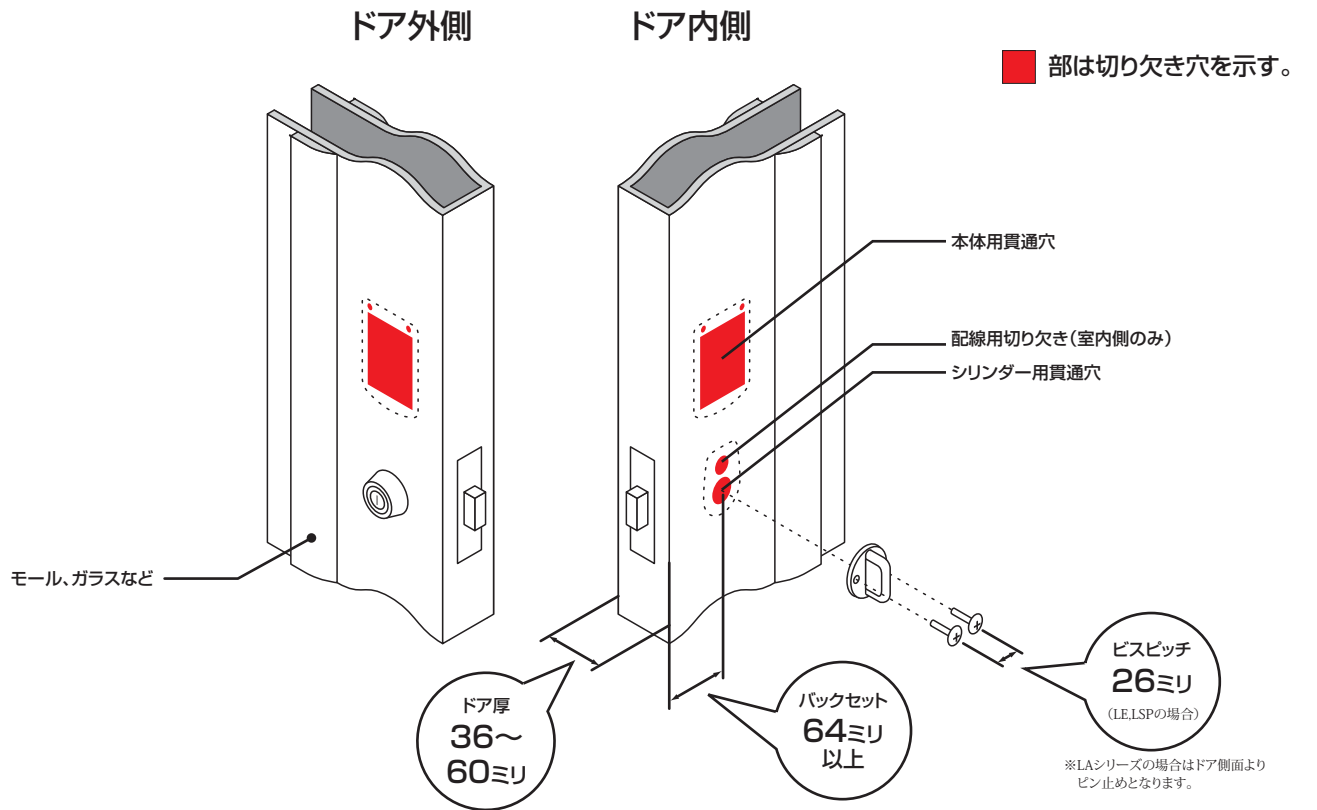


■ ドアの条件及びドア加工概要

ドア条件、錠前、錠前タイプが適合すれば指紋錠の取付が可能です。

指紋錠「アルファフィンガーロック」を取り付けられるドアの条件は下図の通りです。

※ドアの仕様により取付条件が満たされている場合でも一部取付ができない場合もあります。



■ 錠前の条件

ドア条件、錠前、錠前タイプが適合すれば指紋錠の取付が可能です。

指紋錠「アルファフィンガーロック」の電動サムターンを取り付けられる錠前は美和ロック社製の次の錠前機種で錠前タイプであれば取り付けることができます。

※適合する錠前でも一部、仕様により取付ができない場合があります。

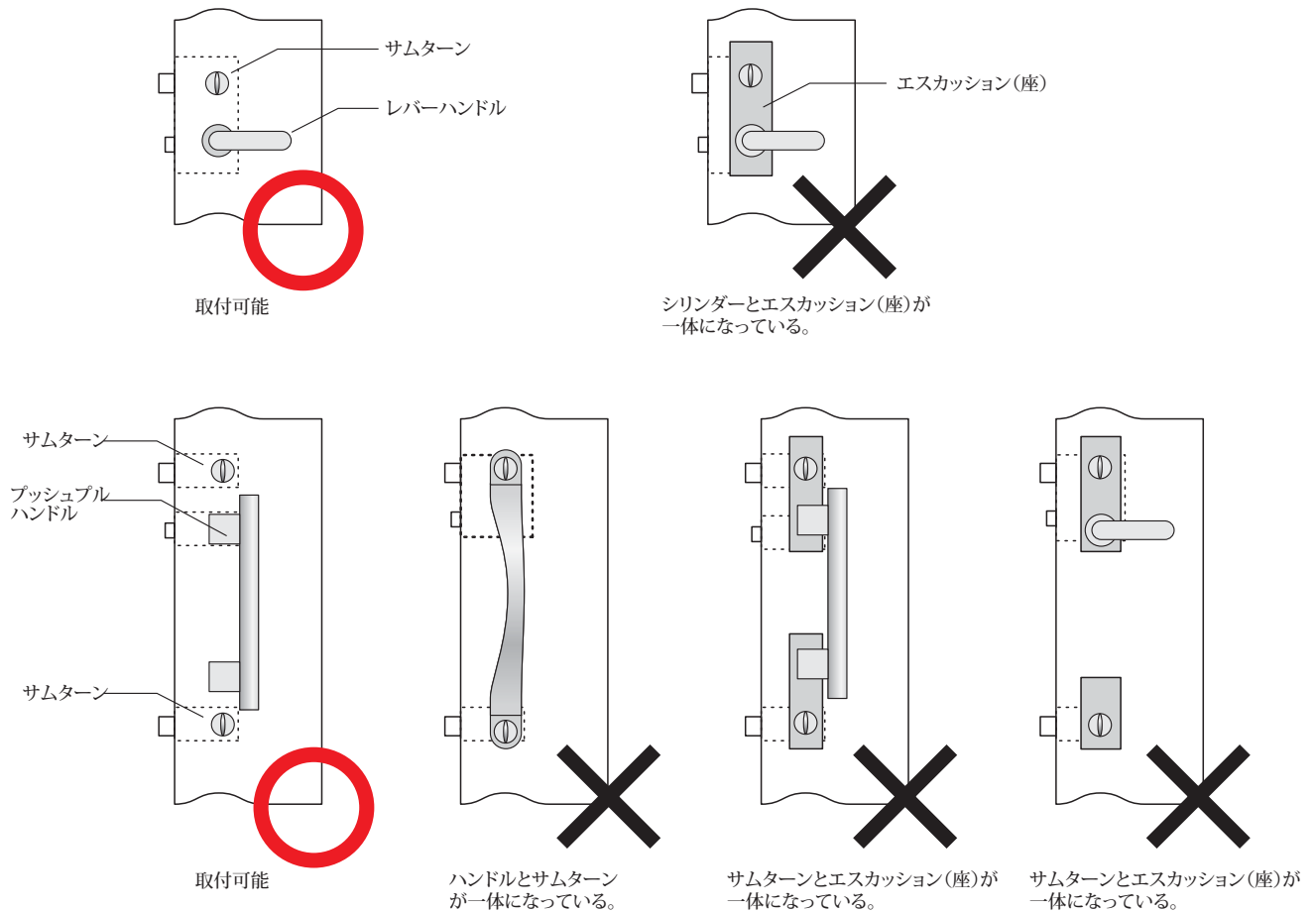
適合する錠前機種

次の美和ロック社製またはゴール社製の錠前で後述の適合錠前タイプであることが必要です。

●GAA ●GAB ●LE ●LSP ●TEシリーズ ●LAシリーズ ●DAシリーズなど
最新の適合錠前は弊社ホームページをご覧ください。

適合する錠前のタイプ(室内側)

指紋錠「アルファフィンガーロック」はサムターンを電動サムターンに取り替えるため、室内側のハンドルとサムターンが独立した構成のタイプに対応します。(且つ前述の適合錠前であることが必要です)



適合しない錠前への取付

新たに本締錠(美和ロック社製DAなど)と指紋錠を取付けることにより対応できます。

但し次のような条件があります。

- (1) 指紋錠による施解錠操作は新たに付けた本締錠だけです。従来の錠前は従来の鍵で施解錠します。
- (2) 原則的に従来の鍵と新たに付けた鍵は異なるため、ひとつの鍵で両方を使うことはできません。但しFBロックと交換が可能な錠前であればFBロックと交換することにより、ひとつの鍵で全ての錠を施解錠できるようになります。

